

別紙参考様式

令和5年度 学校経営計画

学 校 名 東広島市立原小学校

学校長名 友 道 治 代

I 学校の状況

学級数	8	児童・生徒数	1 4 2	教職員数	1 6
メールアドレス	hara-sho@city.higashihiroshima.hiroshima.jp				
ホームページアドレス	http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/school/hara_sho/				

II 教育目標

夢と志をもち 主体的に学び続ける児童の育成
 ～ 自分だいすき 友だちだいすき ふるさと原だいすき ～

III 経営理念（ミッション・ビジョン）

- ミッション：ふるさと原を誇りに思い、これからの社会をたくましく、主体的に生きるために必要な資質・能力を身に着けた児童の育成
- ビジョン：信頼され期待される学校づくり
- ・児童が学ぶ喜びを感じる学校
 - ・教職員が主体的に職能を伸ばし、協働して組織力を発揮する学校
 - ・地域から学び、保護者・地域と共に歩む学校

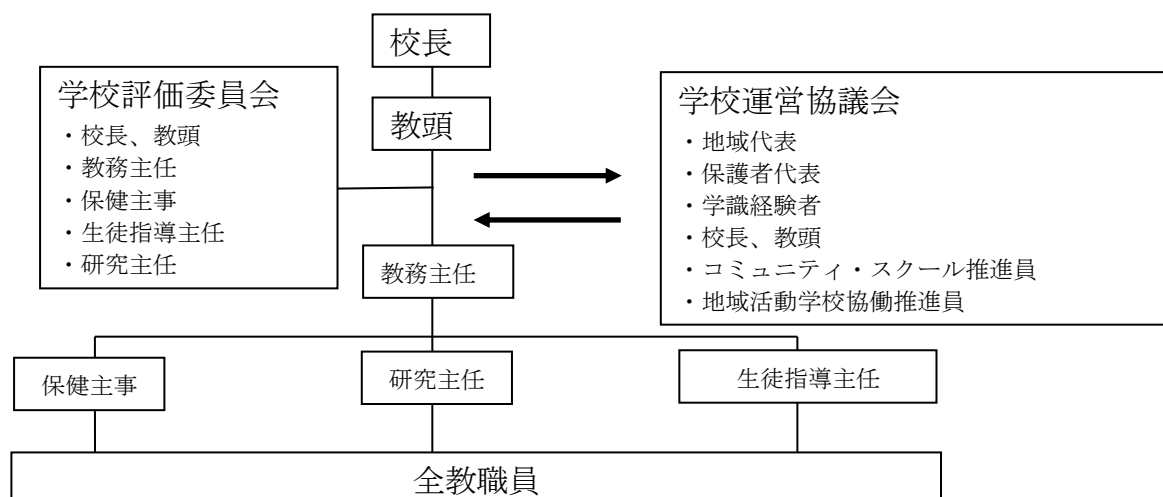
VI 中期経営目標及び短期経営目標

項目	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目
たしかな学力	○主体的に学習に取り組む意欲と態度の育成	・基礎的・基本的な学力の定着を図る。	・原小「学びのスタイル」の定着（重点項目：話す・聞く） ・ステップ学習の充実と定着 ・家庭学習の充実と定着 ・家庭と連携した読書活動の充実	・原小「学びのスタイル」定着率80%以上 ・国語科・算数科単元テストの平均85点以上 ・家庭学習の提出率100% ・1か月に読む本の冊数（低：3中：2高：1以上）
		・児童一人一人が「わかった」「できた」という達成感のもてる授業づくり	・児童自らが課題を設定し、自分の学びを振り返ることができる授業づくり ・学習のつまずきに応じた学習支援の実施 ・ICTを効果的に活用する授業づくり	・標準学力調査における国語科・算数科の偏差値51以上 ・抽出児童の学力調査の向上 ・児童アンケートで主体的な学習に関する肯定定期評価80%以上
豊かな心・健やかな体の育成	○より良い人間関係を築く児童の育成	・東広島スタンダードの定着（重点項目：挨拶・返事）による規範意識の向上 ・自己有用感を高め、社会性の基礎を育む	・年間を通じた挨拶運動の実施（児童による挨拶運動、名人認定） ・生活目標の振り返りの充実 ・縦割り班活動の機能充実（縦割り班掃除・縦割り班遊びの実施） ・相手の良さを認め合う学級づくり ・教職員間における情報共有の充実	・挨拶名人に認定されたことがある児童70%以上 ・自分にはよいところがあると考える児童90%以上 ・縦割り班活動は楽しい、自分は役割を果たしていると回答する児童90%以上

	○健康でたくましい体の育成	・運動意欲と体力の向上 ・基本的生活習慣の定着	・外遊び、運動遊びの奨励（ロング昼休憩を活用した体育委員会主催行事・学級遊びの実施） ・体育的行事等における目標をもった取組の工夫 ・ノーゲームデーの実施（年7回）	・運動することが楽しいという児童 90%以上 ・目標をもって運動し、能力が高まったと感じる児童 85%以上 ・ノーゲームデーの時間の使い方を工夫している児童 80%以上
地域とともにある学校	○学校と地域との協働による学校教育目標の実現	・コミュニティ・スクールの推進 ・地域と関わる学習の充実 ・教師同士の学び合いの文化の創造。	・情報発信と情報収集による相互交流の推進 ・地域素材を生かした、生活科・総合的な学習の時間における単元開発及び改善 ・校内研修・ミニ研修会の充実	・保護者、地域の方の本校教育に対する満足度 90%以上 ・地域の人と関わってよかった、地域の役にたったと考える児童 90%以上 ・研修を日々の学級経営・授業改善に生かす教職員 95%以上

VII 学校評価

（１） 学校評価システムの組織（構成者を含む）



（２） 自己評価及び学校関係者評価の実施計画（公表方法を含む）

実計画内容施	公表方法
・経営目標に基づき評価内容を決定し、自己評価表を作成する。 ・年間3回（6月・10月・2月）学校運営協議会を開催し、進捗状況を報告するとともに助言を受ける。 ・毎月、自己評価を実施し、P—D—C—A で組織マネジメントを行う。 ・年度末には、第3回学校運営協議会を行い、客観性と妥当性を高め、次年度への自己評価に活かす。	・学校だよりやホームページで保護者ならび地域に情報公開する。 ・年度末に評価委結果を学校だより、ホームページ等で公表する。

※学校評価のアンケートは、全ての部のアンケート項目を一括集約し、7月上旬、12月中旬に実施する。